

清流のほとり



令和5年6月1日(木)発行

園長 津田 将美

幼稚園HPのQRコードで↑

いのちと向き合う

園バスが入ってきてすぐに、職員が歓声を上げました。

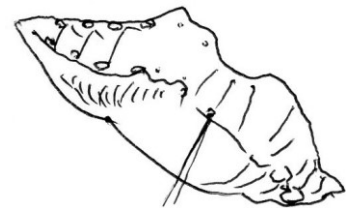
「うわあ、どうしたの？すごいね！つかまえたの！！」

その声にさそわれて人だかりに近づいていくと、透明なケースの中にアオムシさんがたくさんいました。持ってきた子はうれしそうに、そしてとてもやさしい目で中のアオムシさんを見つめています。

集まってきた子も興味津々で、さわらせてもらったり、顔を近づけたりしています。いのちとの出会いは新鮮で、その中にたくさんの驚きと感動がありました。

「園長先生、見て、サナギになったよ！」

それほど日が経たないうちに、今度はそんなかわいらしい報告がありました。見るといくつかのサナギがケースにはり付いています。いのちの息吹がその小さなサナギから伝わってくるのか、本当にやさしい目でサナギを見つめました。この視線こそ、園の教育の成果だと思うのです。

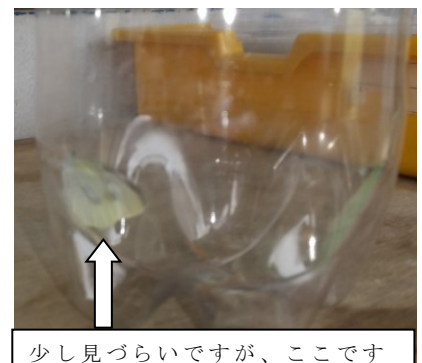


職員は、子どもたちが持ち寄った小さな生き物の生長過程がみんなに伝わるように、写真を掲示するなど、発見したことを意図的に伝え合う場もてるように配慮しています。その中で子どもたちは、友達の気づきに共感したり、小さな命の営みに感動したりしています。そのことが「いのち」と向き合う姿勢を育み、自分自身や周りの人を大切にしていこうとする心が大きくなっていくのだと思います。

連休明けに登園すると、虫かごにモンシロチョウがとまっていた。その入口は惜しげもなく開け放たれています。

「いつでも外に出られるようにしているの・・・」

と、子どもたち。残念ながら羽化の瞬間は見ることはできませんでしたが、心に強く残る豊かな経験となったことを感じさせてくれました。



少し見づらいですが、ここです

幼稚園評議員会

5月17日(水)に、幼稚園評議員会が開催されました。今年度も4人の評議員さんにご来園いただき、園の経営方針を説明しながらご意見を伺いました。その後、園児の様子を参観していただきました。評議員さんから出た主なご意見等は、以下の通りです。

- ・子どもたちがみんな活動的で、よくあいさつができる。
 - ・一人ひとりが活動したことを伝え合っている。
 - ・コロナ禍で中止されていた行事をすべて復活するのではなく、その期間に見えてきた良さや課題を精査して、効率的効果的で質の高い行事にしていってほしい。
 - ・行事は、見栄えより内容が大切。子どもたちの願いや思いの実現を目指してほしい。
- いただいたご意見を、今後の園運営に生かしていきたいと思っております。